

朝の打ち合わせ（5月14日（金）） 校長より

- 教育における評価活動は、成績認定や卒業に関する判定などの「学習の評価」だけではない。
- 教師が評価を指導改善に生かす「学習のための評価」や、生徒自身が評価を学びの改善に生かしたり、自らの学びや探究の舵取りをしたりする「学習としての評価」もある。
- 特に「学習としての評価」を通して、生徒はこれまでの学びを捉え直した上で、これからの学びを自己調整・修正していく力を身につけていく。
- そのためには、学びの過程で、目標や評価規準などを先生と生徒の間で共有することにより、目標と自分の学びの状況とのギャップを認識し、それを埋めるための手立てを生徒自ら考えることを促すのが大切。
- キャリアパスポートを活用した学びとして、我が校のさまざまな学びを通して育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）について生徒が自己評価する活動は、「学習としての評価」という観点から重要。

朝の打ち合わせ（5月13日（木）） 校長より

<面接週間>

- 面接週間、お疲れ様。我が校みんなでSOS（生徒も、教職員も）をキャッチ、情報共有することにより、心のケアにつなげましょう。

<T-p a lクラブ>

- T-P a lクラブがスタート。遠野ならではのソーシャルスキルトレーニングのプログラム。
- このプログラムに参加する生徒は、具体的な場面や活動を通して、円滑なコミュニケーション活動や感情のコントロールなどについて学習する。
- スクールカウンセラーや先生の個性を生かした豊富なメニューが用意されている。今後の展開を大いに期待。

<キャリアパスポート>

- キャリアパスポートを活用した学びとして、我が校で育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）について生徒が自己評価（ピア評価も）し、i P a dで入力。

- こうした自己評価を通して、生徒はこれまでの学びを捉え直した上で、これからの学びを自己調整・修正していく力を身につけていく。（「学習としての評価」と言われ、その教育的意義が強調されています。）
- 我が校で育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）、キャリアパスポート、授業スタンダードを活用することにより、主体的・対話的で深い学びを推進し、各教科・科目や総合的な学習の時間などで6つの資質・能力をしっかりと育成していきたい。

朝の打ち合わせ（5月12日（水）） 校長より

- 感染症対策を徹底しながら、県高校体育大会の地区予選が始まった。昨年度は開催できず、多くの生徒が涙をのんだ。生徒はプレーできる喜びと感謝の気持ちを持って大会に参加している。
- コロナ禍のため、思うように練習ができないなど、困難な状況にあったが、どの生徒も大会に向け、よく仕上げてきた。生徒の改善、工夫、努力をたたえるとともに、生徒の頑張りを支えた顧問の先生の支援に感謝申し上げる。
- 大会での生徒の頑張りを学校での学びにつなげていきたい。

朝の打ち合わせ（5月10日（月）） 校長より

- 県内においては、今般の感染状況を踏まえ、感染リスクの高い学習活動の停止など、感染症対策を強化。引き続き、我が校でも、感染症対策を一層徹底しながら、生徒の学びを保障していく。